

ウェルウォーク通信

～藤田医科大学 羽田クリニック様への導入と活用事例の紹介～

日頃はウェルウォーク（以下、WW）をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
今回は、羽田空港から1駅離れた場所に位置する大型複合施設「羽田イノベーションシティ」内に開業した藤田医科大学 羽田クリニック様にWWを導入して頂きましたので、特色及び活用事例を紹介致します。

1. 大学病院のエビデンスに基づく先端医療を世界の人々へ

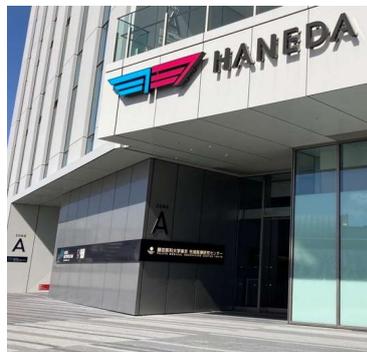
世界の玄関口である羽田空港の隣に藤田医科大学東京 先端医療研究センター様のリソースを最大限に活かした大学付属の自由診療クリニック『藤田医科大学 羽田クリニック』様が開設されました。

「精密健診・先端医療・活動長寿」を医療提供の目標とし、藤田医科大学様で研究開発された医療機器や治療方法を即座に対応・導入、常に最先端の医療提供を目指されています。この羽田クリニック様内に、『先端リハビリテーションセンター』様があり、先進機器の1つとしてウェルウォークを開所時に導入して頂きました。

藤田医科大学 羽田クリニック

【施設紹介】

- 開所 : 2023年10月2日
- 所在地 : 東京都大田区
- HP : <https://haneda.fujita-hu.ac.jp/>
- 人員構成 : Dr.1名PT2名OT3名(先端リハビリテーションセンター)
- 特徴 : 最先端の研究と、自由診療や先進医療による幅広い医療を両輪として展開



<フロア構成>

10F ～ 5F	ホテル客室
4F	FMIC Tokyo 本部 産学協賛企業
3F ～ B1F	先端医療研究センター 羽田クリニック 3F: リハビリテーション 他 2F: イメージングセンター 他 1F: 先端リハビリテーションセンター B1F: リハビリテーションセンター

2. 先端リハビリテーションセンター様のウェルウォーク活用事例

インバウンドのお客様へもウェルウォークを活用して頂いており、その中の介入事例2件を紹介させていただきます。

脊髄損傷のお客様への視覚フィードバックの活用

ウェルウォークを部分体重免荷トレッドミル練習として利用し、視覚フィードバックを活用されています。正面モニタに歩行情報や足型を表示させることで、言語の壁があるお客様に対し会話が難しくとも画面を見ながら指示を出すことができます。

体幹前傾のあるパーキンソン病+アルツハイマー型認知症のお客様への手摺高さの変更

廃用症候群で活動量が低下した患者様で体幹前傾があり、目線が足元に向いてしまうため、手摺を高くすることで抑制を図りました。さらにウェルウォークの免荷機能とPTによる徒手的な介助により、適切な難易度で歩行訓練を行うことで、基本動作の改善、歩行速度が上昇しました。練習の成果の表れと共に本人のモチベーションも上がり最後に“また来日した際にはもう一度あの機械を使用したい！”と言って頂きました。



先端リハビリテーションセンター様の内観

ウェルウォーク通信

～藤田医科大学 羽田クリニック様への 導入と活用事例の紹介～

3. 先進機器を活用し、エビデンスに基づいたオーダーメイドのリハビリを提供

ロボット治療など先進機器を積極的に使用することで、従来の徒手療法では行えない**安全で、効果的なリハビリを実施しています**。また治療は自由診療で行われており、保険診療の枠組みにとられないのも特徴です。患者さんの病状やご要望に応じて最善の治療内容や頻度を調整するオーダーメイドの治療が提供されています。医師が常駐しているので、ボトックスの投与や装具作成、MRIなどの画像検査を施設内で提供することができるのも利点となっています。



医師：森直樹先生のコメント

ウェルウォークは以前勤めていた回復期病院でも使用経験がありましたが、当時は専ら脳卒中の方に使用していました。当院には脳卒中に限らず様々な方がいらっしゃいます。本機には様々な難易度調整やフィードバックの機能が備わっており、創意工夫によって様々な疾患に応用可能であると感じています。治療効果についても手応えがあり、今後も積極的に使用していきたいと考えています。

4. 羽田クリニックに導入されている機器・設備



立位CT（精密健診）



hinotori（先端医療）



調理・栄養指導（活動長寿）

5. 先端リハビリテーションセンターで導入している先進機器紹介



インテレクトRPW

痙縮の軽減、運動器の疼痛緩和が行える拡散型体外衝撃波治療器



コーディネーション・トレーナー

運転再開を目的とした実車と同じ体験ができるリハビリ機器

Instagramを利用し、院内で使用されている先進機器の紹介動画を投稿されております。左記で紹介させて頂いた機器の他にも様々な機器を導入・紹介されておりますので、興味がありましたら、QRコードを読み取りアクセスして頂ければ幸いです。



ご不明点、ご質問等ございましたら下記メールアドレスまでご連絡下さい。

WW 臨床・運用相談窓口<clinical-ww@mail.toyota.co.jp>